

# 中川青和高校

## 「ラーケーションの日」活用の手引き

### 1 「ラーケーションの日」とは

生徒が保護者等とともに（保護者等の休暇に合わせて）、地域や家庭などの校外で、体験や探究の学び・活動を自ら考え、企画し、実行することができる日です。令和5年度は、9月から3月の平日の授業日に2日、令和6年度以降は3日、事前に届け出をして取得することができます。（留意事項は後述）

ラーケーションの日については、校外での自主学習活動として位置付けるため、登校しなくても「欠席」の扱いとはなりません。（ただし、授業の「欠課」にはカウントされます。）



### 2 取得の方法（届け出の流れ）

① まずは家庭で計画を立てましょう（ラーケーションカードの活用）

ラーケーションの日は、どのような体験や探究の学び・活動をするのか、保護者等と考えるところからが第一歩です。

事前配布された「ラーケーションカード」活用し、同行者とともに「いつ・どこで・何を学ぶのか」の計画を立ててください。

② 計画が決まったら、学校に届け出をします（ラーケーション申請書の提出）

学校への届け出は、**必ず取得する日の1週間前までに届けてください**。特別の事情がない限り、それ以降の届け出は認められません。

届け出は、事前配布された「ラーケーション申請書」を担任まで提出してください。同行する保護者等の氏名は自署でお願いします。

③ ラーケーション実施

校外での体験や探究の学び・活動を実施



④ 体験・探究の振り返り

学んだことや、体験したことを同行者と振り返り、今後の学びにつなげたり、自身の進路を考える材料にしてください。（学校へ提出する物はありません）



### 3 留意事項（□に✓を入れて確認しましょう）

□ **ラーケーションの日は必ず取得しなければならないものではありません。**  
・生徒それぞれの状況や目的に応じて、計画的に取得してください。（令和5年度は2日まで）

□ **ラーケーションを取得することができない日・期間等**

※以下の期間等については、学校行事等を優先し、ラーケーションの日の取得は認められません。

- ・定期考査期間～定期考査最終日までの期間
- ・成績不振に関わる学習会や考査が組まれている日
- ・課題テストや到達度テストなど定期考査以外の一斉テストが行われる日
- ・始業式や卒業式などの式典行事が開催される日
- ・球技大会や学校祭（準備期間を含む）、遠足や修学旅行などの学校行事が開催される日
- ・校内外の実習（インターンシップ、課題研究や家庭科等の授業での実習）がある日
- ・内科や眼科などの検診の対象となっている日
- ・授業欠課が多数となり、補充を必要とする状況にある者
- ・学校から個人の指導等で指定のある日

□ **ラーケーションの日は、「欠席」扱いとはなりませんが、授業に出席していないことを表す「欠課」時数には加えられます。**

- 届け出（ラーケーション申請書）は必ず1週間前までに提出してください。
  - ・所定の提出がない場合は、通常の欠席扱いとなります。当日や事後の提出は認められません。
  - ・事前に教科担当まで出向き、当日の学習内容や実習等の予定がないかを確認してください。
- ラーケーションの日を取得した日に行われた授業の補充は学校では行いません。
  - ・各自が自習で補うこととなります。あらかじめ教科担当に尋ねるなどして対策をしてください。
- 虚偽の申請をして学校を欠席したことが発覚した場合は、何らかの指導を行う場合があります。
- ラーケーションの日は、1日単位の取得です。半日等に区切って取得することはできません。
- 「ラーケーションの日 申請書」に書かれた内容が、著しくラーケーションの日の趣旨とかけ離れている場合は、再考を願う場合があります。
- やむをえない事情で、取得希望日から1週間以内に申請する場合は、担任まで相談してください。
- 以上のことに同意いただけない場合は、申請を認められない場合があります。

## 4 ラーケーション活動のポイント

- 「家族と一緒に過ごす時間」が大切です。
- 「何について学ぶか」を事前に話し合い、企画、実行の計画を練ってみてください。そのことも、ラーケーション活動の一つです。
- 遠方に出かけることが目的ではありません。その場所で何を行うかが大切です。家族と一緒に、新たな発見や感動などが得られるような活動が望ましいです。在宅での活動も可です。
- キーワードとして  
自然、科学、環境、実験、観察、産業、スポーツ、文化、芸術、歴史、地理、伝統芸能、国際理解、福祉、SDGS、チャレンジ、職業理解・・・などが考えられます。

### ものづくり

伝統工芸や体験型のものづくり関連施設など、ものづくりを通して、新たな体験や歴史に触れてみてはどうでしょう。



### 農業体験

普段何気なく口にしている野菜の生産や収穫の体験は、今後の食卓での話題につながるなど貴重な体験になるのではないのでしょうか。



### 自然体験

都会の喧騒から離れ、自然を感じ家族で協力して目標を達成したり、観察したり、様々な発見の連続があるかもしれません。



### 芸術鑑賞

美術、音楽、演劇など、人生を豊かにする芸術に触れて、感じたことを語り合ってみましょう。



### 国際交流

異なる国籍、言語や文化の違う人たちと保護者とともに交流し、多文化共生について学んでみるのもラーケーション活動と言えるでしょう。



### 史跡探訪

遺跡や神社・仏閣、史跡などは様々な探究の種が隠れています。これを機に新たな興味に目覚めるかもしれませんね。

